

円サポート

運用報告書（全体版）

第169期（決算日 2025年3月10日） 第171期（決算日 2025年5月12日） 第173期（決算日 2025年7月10日）
第170期（決算日 2025年4月10日） 第172期（決算日 2025年6月10日） 第174期（決算日 2025年8月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「円サポート」は、2025年8月12日に第174期の決算を行ないましたので、第169期から第174期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2011年2月28日から2026年2月10日までです。	
運用方針	主として「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	円サポート	「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等をいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	円サポート	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

お知らせ

当ファンドは、2026年2月10日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL: www.amova-am.com

<641537>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	基準価額					債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落			
145期(2023年3月10日)	円 6,913		円 8		△2.0		% 94.8	% —	百万円 875
146期(2023年4月10日)	7,136		8		3.3		94.6	—	900
147期(2023年5月10日)	7,011		8		△1.6		93.8	—	839
148期(2023年6月12日)	6,885		8		△1.7		95.5	—	808
149期(2023年7月10日)	6,731		8		△2.1		93.1	—	783
150期(2023年8月10日)	6,817		8		1.4		96.0	—	784
151期(2023年9月11日)	6,762		8		△0.7		94.5	—	746
152期(2023年10月10日)	6,604		8		△2.2		94.1	—	716
153期(2023年11月10日)	6,656		8		0.9		94.8	—	707
154期(2023年12月11日)	6,840		8		2.9		93.4	—	712
155期(2024年1月10日)	6,891		8		0.9		97.2	—	707
156期(2024年2月13日)	6,814		8		△1.0		93.8	—	680
157期(2024年3月11日)	6,883		8		1.1		92.9	—	663
158期(2024年4月10日)	6,803		8		△1.0		95.7	—	648
159期(2024年5月10日)	6,721		8		△1.1		95.9	—	625
160期(2024年6月10日)	6,688		8		△0.4		92.7	—	610
161期(2024年7月10日)	6,677		8		△0.0		94.9	—	599
162期(2024年8月13日)	6,819		8		2.2		93.3	—	607
163期(2024年9月10日)	6,852		8		0.6		89.1	—	605
164期(2024年10月10日)	6,745		8		△1.4		92.9	—	581
165期(2024年11月11日)	6,650		8		△1.3		94.3	—	568
166期(2024年12月10日)	6,770		8		1.9		92.0	—	559
167期(2025年1月10日)	6,545		8		△3.2		91.6	—	531
168期(2025年2月10日)	6,635		8		1.5		90.0	—	519
169期(2025年3月10日)	6,508		8		△1.8		93.6	—	501
170期(2025年4月10日)	6,550		8		0.8		94.3	—	501
171期(2025年5月12日)	6,592		8		0.8		95.0	—	497
172期(2025年6月10日)	6,574		8		△0.2		91.6	—	475
173期(2025年7月10日)	6,554		8		△0.2		93.4	—	466
174期(2025年8月12日)	6,570		8		0.4		95.2	—	463

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債組入比率	券率
		騰	落		
第169期	(期 首) 2025年 2月 10日	円 6,635	% —		% 90.0
	2月末	6,636	0.0		89.9
	(期 末) 2025年 3月 10日	6,516	△1.8		93.6
第170期	(期 首) 2025年 3月 10日	6,508	—		93.6
	3月末	6,535	0.4		94.9
	(期 末) 2025年 4月 10日	6,558	0.8		94.3
第171期	(期 首) 2025年 4月 10日	6,550	—		94.3
	4月末	6,637	1.3		94.8
	(期 末) 2025年 5月 12日	6,600	0.8		95.0
第172期	(期 首) 2025年 5月 12日	6,592	—		95.0
	5月末	6,599	0.1		94.8
	(期 末) 2025年 6月 10日	6,582	△0.2		91.6
第173期	(期 首) 2025年 6月 10日	6,574	—		91.6
	6月末	6,605	0.5		95.0
	(期 末) 2025年 7月 10日	6,562	△0.2		93.4
第174期	(期 首) 2025年 7月 10日	6,554	—		93.4
	7月末	6,566	0.2		96.7
	(期 末) 2025年 8月 12日	6,578	0.4		95.2

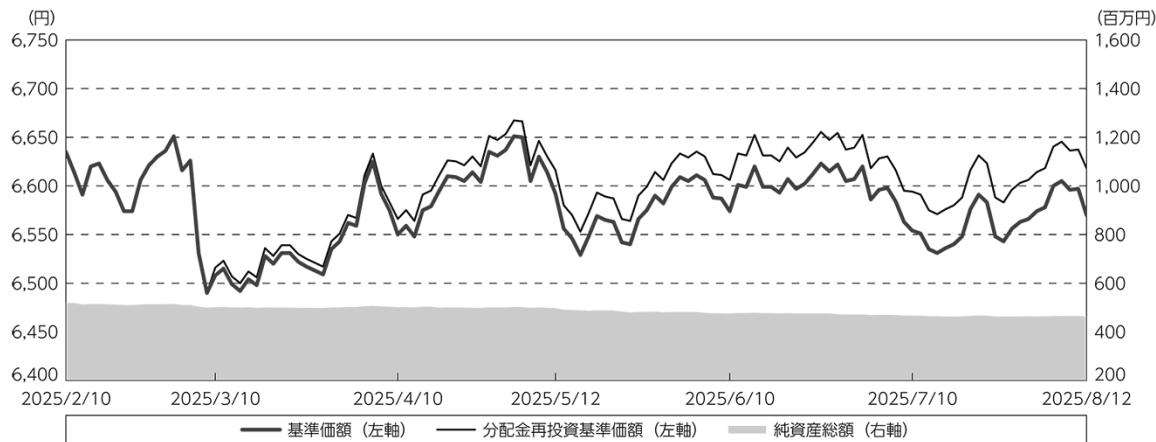
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年2月11日～2025年8月12日)

作成期間中の基準価額等の推移



第169期首：6,635円

第174期末：6,570円 (既払分配金(税込み):48円)

騰 落 率：△ 0.3% (分配金再投資ベース)

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年2月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、日本および世界の高格付け国の債券に実質的に投資を行なうとともに、外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からインカム収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジに伴う費用を支払ったこと。
- ・投資対象国の国債利回りが総じて上昇（債券価格は下落）したこと。

投資環境

(債券市況)

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りは期間の初めと比べて総じて上昇しました。米国大統領が関税政策による景気後退の可能性を否定しなかったことや、米国政権が貿易相手国に対して発表した相互関税で幅広く関税を引き上げる方針を示し、世界景気の悪化が懸念されたことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となったものの、ドイツの次期政権樹立に向けて連立交渉中の政党が防衛費増額と成長回復に向けてインフラ基金の創設と借り入れ規則の全面見直しで合意し国債増発への警戒感が強まつたことや、米国の格付け会社が米国の信用格付けを最上位から1段階引き下げるなどと発表したこと、欧州中央銀行（ＥＣＢ）総裁による金融緩和局面の終了が近いとの発言を受けてＥＣＢによる追加利下げ期待が後退したこと、英国政権による歳出削減計画が支持を得られず縮小を余儀なくされる状況下で、英国財務相の退任観測が浮上し一時英國国債の売りが膨らんだことなどから、利回りは総じて上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行なっていません。

（ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド）

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。期間の初めより、アメリカ、オーストラリア、ベルギー、フランス、イギリスの5カ国へ投資を行ない、期間中はこれを維持しました。各国の投資比率は、ベルギーの比率を高めに維持し、次いでイギリスの比率も高めに維持しました。

ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）については、市場環境を考慮して機動的に変更しました。また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行なっていません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかつた収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	8 0.123%	8 0.122%	8 0.121%	8 0.122%	8 0.122%	8 0.122%
当期の収益	8	8	8	8	8	8
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	207	215	224	228	233	240

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド)

引き続き、現在投資を行なっている5カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年2月11日～2025年8月12日)

項目	第169期～第174期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 16	% 0.243	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(7)	(0.099)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(8)	(0.127)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	4	0.059	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(3)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合計	20	0.302	
作成期間の平均基準価額は、6,596円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

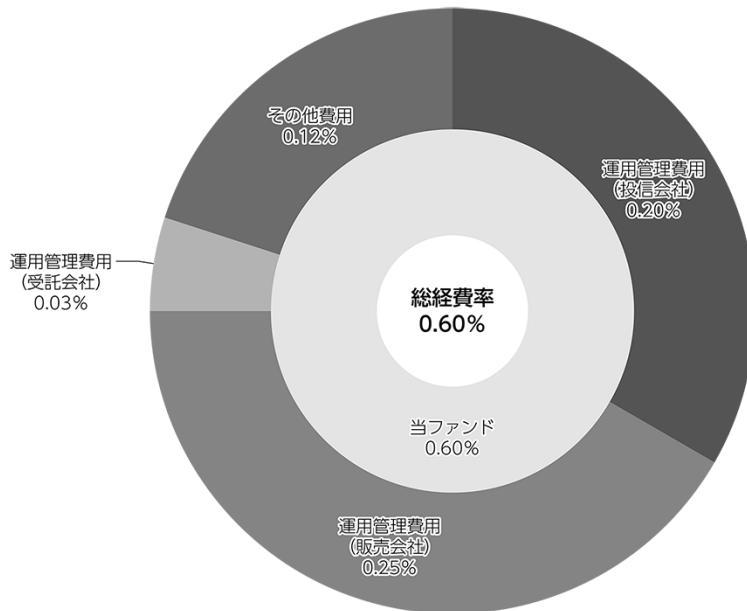
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.60%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月11日～2025年8月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第169期～第174期			
	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	千口 一	千円 一	千口 49,796	千円 54,568

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月11日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年2月11日～2025年8月12日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年2月11日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

親投資信託残高

銘柄	第168期末		第174期末	
	口数	千円	口数	千円
ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	461,340	千円 461,340	411,543	千円 452,862

(注) 親投資信託の2025年8月12日現在の受益権総口数は、25,752,403千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項目	第174期末	
	評価額	比率
ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド	452,862	97.6
コール・ローン等、その他	11,273	2.4
投資信託財産総額	464,135	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ソブリン(円ヘッジ)マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(27,859,687千円)の投資信託財産総額(29,059,983千円)に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1アメリカドル=148.46円、1ユーロ=172.45円、1イギリスポンド=199.41円、1オーストラリアドル=96.78円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末
	2025年3月10日現在	2025年4月10日現在	2025年5月12日現在	2025年6月10日現在	2025年7月10日現在	2025年8月12日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
コール・ローン等	502,435,475	502,073,169	498,371,115	476,314,006	467,798,015	464,135,356
ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド(評価額)	12,945,151	12,688,256	12,666,934	11,969,852	11,374,324	11,272,817
未収入金	489,490,152	489,384,744	485,704,012	464,343,995	454,446,599	452,862,389
未収利息	—	—	—	—	1,976,941	—
(B) 負債	1,154,552	898,990	1,003,499	923,088	1,606,651	1,003,813
未払収益分配金	616,223	612,166	603,639	578,494	569,064	563,902
未払解約金	309,251	899	65,367	300	653,340	723
未払信託報酬	189,869	205,906	212,457	185,810	188,516	203,194
その他未払費用	39,209	80,019	122,036	158,484	195,731	235,994
(C) 純資産総額(A-B)	501,280,923	501,174,179	497,367,616	475,390,918	466,191,364	463,131,543
元本	770,279,602	765,208,087	754,549,642	723,117,606	711,331,131	704,878,351
次期繰越損益金	△268,998,679	△264,033,908	△257,182,026	△247,726,688	△245,139,767	△241,746,808
(D) 受益権総口数	770,279,602口	765,208,087口	754,549,642口	723,117,606口	711,331,131口	704,878,351口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,508円	6,550円	6,592円	6,574円	6,554円	6,570円

(注) 当ファンドの第169期首元本額は783,345,739円、第169~174期中追加設定元本額は3,037,791円、第169~174期中一部解約元本額は81,505,179円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第169期0.6508円、第170期0.6550円、第171期0.6592円、第172期0.6574円、第173期0.6554円、第174期0.6570円です。

(注) 2025年8月12日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は241,746,808円です。

○損益の状況

項目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
(A) 配当等収益	4,652	5,071	5,268	4,710	4,645	5,170
受取利息	4,652	5,071	5,268	4,710	4,645	5,170
(B) 有価証券売買損益	△ 8,960,414	4,048,189	4,027,489	△ 459,950	△ 659,617	1,973,000
売買益	35,299	4,050,556	4,068,959	81,010	43,626	1,984,744
売買損	△ 8,995,713	△ 2,367	△ 41,470	△ 540,960	△ 703,243	△ 11,744
(C) 信託報酬等	△ 229,078	△ 248,430	△ 256,338	△ 224,183	△ 227,444	△ 245,159
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 9,184,840	3,804,830	3,776,419	△ 679,423	△ 882,416	1,733,011
(E) 前期繰越損益金	△195,472,803	△203,811,049	△197,622,085	△186,247,398	△184,357,704	△183,928,665
(F) 追加信託差損益金	△ 63,724,813	△ 63,415,523	△ 62,732,721	△ 60,221,373	△ 59,330,583	△ 58,987,252
(G) (配当等相当額)	(2,889,562)	(2,877,811)	(2,851,667)	(2,740,687)	(2,702,949)	(2,693,187)
(H) (売買損益相当額)	(△ 66,614,375)	(△ 66,293,334)	(△ 65,584,388)	(△ 62,962,060)	(△ 62,033,532)	(△ 61,680,439)
(G) 計(D+E+F)	△268,382,456	△263,421,742	△256,578,387	△247,148,194	△244,570,703	△241,182,906
(H) 収益分配金	△ 616,223	△ 612,166	△ 603,639	△ 578,494	△ 569,064	△ 563,902
次期繰越損益金(G+H)	△268,998,679	△264,033,908	△257,182,026	△247,726,688	△245,139,767	△241,746,808
追加信託差損益金	△ 63,724,813	△ 63,415,523	△ 62,732,721	△ 60,221,373	△ 59,330,583	△ 58,987,252
(配当等相当額)	(2,889,716)	(2,878,046)	(2,852,139)	(2,740,887)	(2,703,131)	(2,693,641)
(売買損益相当額)	(△ 66,614,529)	(△ 66,293,569)	(△ 65,584,860)	(△ 62,962,260)	(△ 62,033,714)	(△ 61,680,893)
分配準備積立金	13,125,646	13,626,212	14,066,649	13,810,535	13,886,959	14,285,446
繰越損益金	△218,399,512	△214,244,597	△208,515,954	△201,315,850	△199,696,143	△197,045,002

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2025年2月11日～2025年8月12日) は以下の通りです。

項目	2025年2月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年4月10日	2025年4月11日～ 2025年5月12日	2025年5月13日～ 2025年6月10日	2025年6月11日～ 2025年7月10日	2025年7月11日～ 2025年8月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	867,020円	1,206,269円	1,247,588円	915,714円	877,322円	1,102,937円
b. 有価証券買賣等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,889,716円	2,878,046円	2,852,139円	2,740,887円	2,703,131円	2,693,641円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	12,874,849円	13,032,109円	13,422,700円	13,473,315円	13,578,701円	13,746,411円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	16,631,585円	17,116,424円	17,522,427円	17,129,916円	17,159,154円	17,542,989円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	215円	223円	232円	236円	241円	248円
g. 分配金	616,223円	612,166円	603,639円	578,494円	569,064円	563,902円
h. 分配金(1万口当たり)	8円	8円	8円	8円	8円	8円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
1万口当たり 分配金（税込み）	8円	8円	8円	8円	8円	8円

○お知らせ

約款変更について

2025年2月11日から2025年8月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第58条の2）

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2025年2月10日）
(2024年2月14日～2025年2月10日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2011年2月28日から原則無期限です。
運用方針	内外の公社債に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

原則として、日本および世界の高格付け国の中から、為替ヘッジコスト考慮後の利回りや信用力などを勘案して複数国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資するとともに、外貨建て資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

ポートフォリオの構築にあたっては、為替ヘッジコスト考慮後の利回りの水準や方向性、信用力、流動性などの分析を行ない、組入国やその配分比率、および組入銘柄を決定します。なお、金利動向などによっては、組入債券の一部売却や先物取引などの活用により、実質的な債券組入比率を調整することがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<636932>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債券比率		債券比率	純資産額
		債組入率	債先物比率		
10期(2021年2月10日)	円 13,889	% 1.1	% 93.9	% —	百万円 85,110
11期(2022年2月10日)	13,036	△ 6.1	98.1	—	63,267
12期(2023年2月10日)	11,278	△13.5	98.0	—	44,507
13期(2024年2月13日)	11,082	△ 1.7	96.0	—	34,061
14期(2025年2月10日)	11,000	△ 0.7	92.2	—	30,117

(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	債券比率		債券比率	券率
		騰落	率		
(期首) 2024年2月13日	円 11,082		% —		% 96.0
2月末	11,046		△0.3		99.6
3月末	11,177		0.9		97.1
4月末	10,913		△1.5		100.1
5月末	10,865		△2.0		98.3
6月末	10,956		△1.1		98.3
7月末	11,082		0.0		93.8
8月末	11,207		1.1		94.2
9月末	11,249		1.5		95.0
10月末	10,991		△0.8		99.0
11月末	11,118		0.3		95.1
12月末	10,947		△1.2		97.9
2025年1月末	10,916		△1.5		92.8
(期末) 2025年2月10日	11,000		△0.7		92.2

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2024年2月14日～2025年2月10日)

基準価額の推移

期間の初め11,082円の基準価額は、期間末に11,000円となり、騰落率は△0.7%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

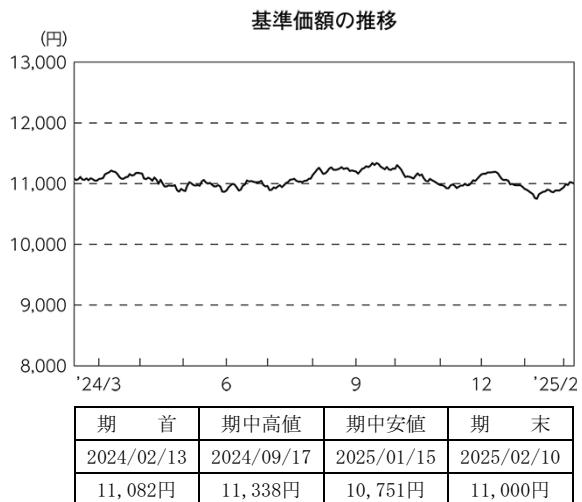
- ・投資債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資対象国の国債利回りが概して低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジに伴なう費用を支払ったこと。

(債券市況)

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りは期間の初めと比べて概して低下しました。期間の初めから2024年5月下旬にかけては、中東情勢の緊迫化を受けて地政学的リスクが警戒されたことや、スウェーデンの中央銀行などが政策金利を引き下げたことなどが利回りの低下要因となったものの、欧洲中央銀行（E C B）高官の発言などを受けてE C Bの利下げは近いが利下げペースは緩やかになるとの見方が広がったことや、米国連邦準備制度理事会（F R B）議長が米国連邦公開市場委員会（F O M C）後の記者会見で金融緩和に慎重な考えを示したことなどを受けてF R Bによる早期利下げ観測が後退したことなどを受けて、各国の10年国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。6月上旬から9月下旬にかけては、E C Bをはじめ、イングランド銀行（B O E）、カナダの中央銀行が利下げを実施したことや、米国の雇用統計が労働需給の緩和を示す内容となったことを背景にF R Bが大幅な利下げを決め金融緩和に転じたことなどを受けて、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。10月上旬から期間末にかけては、イランがイスラエルに弾道ミサイルで攻撃したと伝わり、中東情勢の緊張の高まりなどが利回りの低下要因となったものの、米国の大統領選挙で共和党候補が当選し、次期政権が掲げる財政拡張がインフレ高進につながるとの見方が広がったことや、F O M CにおいてF R Bによる今後の利下げペースが鈍化するとの見通しが示されたこと、欧洲連合（E U）加盟国が防衛を目的とする共同資金への拠出金増のため、債券市場を活用する可能性があるとの報道が警戒されたことなどから、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。



ポートフォリオ

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。期間の初めは、ベルギー、オーストラリア、スウェーデン、アメリカ、カナダの5カ国へ投資を行ないました。2024年3月にはカナダを非保有とし、新規にイギリスを組み入れ、また、同年9月にはスウェーデンを非保有として、フランスを組み入れました。期間末は、ベルギー、オーストラリア、イギリス、アメリカ、フランスへの投資となりました。各国の投資比率は、ベルギーとオーストラリアの比率を高めに維持しました。ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）については、市場環境を考慮して機動的に変更しました。また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、現在投資を行なっている5カ国への投資を継続することを検討します。ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないます。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年2月14日～2025年2月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用 (保管費用)	円 2 (2)	% 0.018 (0.018)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、11,038円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年2月14日～2025年2月10日)

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 27,256	千アメリカドル 20,478
		特殊債券	—	6,296
	カナダ	特殊債券	千カナダドル —	千カナダドル 17,022
		ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	フランス	国債証券	22,994	472
		国債証券	22,029	43,569
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 36,318	千イギリスポンド 10,753
		スウェーデン	千スウェーデンクローナ 8,123	千スウェーデンクローナ 8,101
	オーストラリア	特殊債券	—	244,596
		国債証券	千オーストラリアドル 744	千オーストラリアドル 1,899
		地方債証券	1,765	8,552
		特殊債券	—	35,415

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月14日～2025年2月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年2月14日～2025年2月10日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年2月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当期末						
		評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 15,900	千アメリカドル 15,268	千円 2,320,268	% 7.7	% —	% 7.7	% —	% —
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
フランス	22,500	22,415	3,512,341	11.7	—	11.7	—	—
ベルギー	65,780	65,148	10,208,075	33.9	—	33.9	—	—
イギリス	千イギリスポンド 29,400	千イギリスポンド 25,416	4,787,152	15.9	—	15.9	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 86,330	千オーストラリアドル 73,001	6,949,036	23.1	—	12.2	10.8	—
合計	—	—	27,776,873	92.2	—	81.4	10.8	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末				
	利率	額面金額	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)国債証券	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
US TREASURY N/B	4.375	2,200	2,182	331,700	2034/5/15
US TREASURY N/B	3.875	3,800	3,622	550,515	2034/8/15
US TREASURY N/B	4.25	4,400	4,317	656,139	2034/11/15
地方債証券					
BRITISH COLUMBIA PROV OF PROVINCE OF QUEBEC	4.2	2,000	1,916	291,262	2033/7/6
特殊債券(除く金融債)	4.5	2,000	1,959	297,764	2033/9/8
CAISSE D'AMORT DETTE SOC	2.125	1,500	1,269	192,886	2032/1/26
小計				2,320,268	
(ユーロ…フランス)国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE (GOVT OF)	2.0	3,500	3,279	513,912	2032/11/25
FRANCE (GOVT OF)	3.0	2,000	2,005	314,207	2033/5/25
FRANCE (GOVT OF)	3.5	5,900	6,118	958,639	2033/11/25
FRANCE (GOVT OF)	3.0	11,100	11,012	1,725,581	2034/11/25
(ユーロ…ベルギー)国債証券					
BELGIUM KINGDOM	3.0	15,400	15,655	2,453,084	2033/6/22
BELGIUM KINGDOM	3.0	41,500	42,031	6,585,933	2034/6/22
BELGIUM KINGDOM	2.85	3,800	3,786	593,238	2034/10/22
BELGIUM KINGDOM	1.6	5,080	3,674	575,818	2047/6/22
ユーロ計				13,720,416	
(イギリス)国債証券		千イギリスポンド	千イギリスポンド		
UK TREASURY	3.25	1,100	1,017	191,640	2033/1/31

銘柄	当期末				
	利率	額面金額	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
(イギリス)国債証券	%	千イギリスポンド	千イギリスポンド	千円	
UK TREASURY	0.875		3,300	2,490	469,068
UK TREASURY	4.625		5,000	5,060	953,237
UK TREASURY	4.5		10,100	10,126	1,907,376
UK TREASURY	0.625		9,900	6,720	1,265,829
小計					4,787,152
(オーストラリア)地方債証券		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
NEW S WALES TREASURY CRP	1.5		2,740	2,227	212,002
NEW S WALES TREASURY CRP	2.0		11,000	8,939	850,949
NEW S WALES TREASURY CRP	2.25		6,000	3,946	375,713
QUEENSLAND TREASURY CORP	2.0		9,400	7,472	711,310
QUEENSLAND TREASURY CORP	2.25		3,400	2,173	206,910
TREASURY CORP VICTORIA	1.5		1,800	1,482	141,146
TREASURY CORP VICTORIA	4.25		7,000	6,748	642,342
TREASURY CORP VICTORIA	2.0		2,000	1,474	140,363
WESTERN AUST TREAS CORP	1.75		5,000	4,210	400,768
特殊債券(除く金融債)					2031/10/22
KOMMUNALBANKEN AS	2.4		27,990	25,452	2,422,843
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	1.9		10,000	8,873	844,687
小計					6,949,036
合計					27,776,873

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2025年2月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円	%
	27,776,873	91.6
コール・ローン等、その他	2,543,296	8.4
投資信託財産総額	30,320,169	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(28,103,173千円)の投資信託財産総額(30,320,169千円)に対する比率は92.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=151.96円、1ユーロ=156.69円、1イギリスポンド=188.35円、1オーストラリアドル=95.19円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年2月10日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	58,017,212,919
公社債(評価額)	1,587,485,584
未収入金	27,776,873,025
未収利息	28,326,663,638
前払費用	273,683,503
差入委託証拠金	52,469,378
	37,791
(B) 負債	27,899,529,301
未払金	27,697,922,192
未払解約金	201,607,109
(C) 純資産額(A-B)	30,117,683,618
元本	27,379,566,333
次期繰越損益金	2,738,117,285
(D) 受益権総口数	27,379,566,333口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,000円

(注) 当ファンドの期首元本額は30,736,388,641円、期中追加設定元本額は1,534,388,144円、期中一部解約元本額は4,891,210,452円です。

(注) 2025年2月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け） 10,515,125,986円
- ・高格付先進国ソブリンオープ・為替ヘッジ（適格機関投資家向け） 6,930,436,094円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2014-07（適格機関投資家転換限付） 1,270,113,468円
- ・高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（年2回決算型・適格機関投資家向け） 1,131,447,315円
- ・高格付債券ファンド（為替ヘッジ70）毎月分配型 1,096,918,159円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2015-10Q（適格機関投資家転換限付） 1,025,095,454円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2014-05M（適格機関投資家転換限付） 1,004,358,148円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2016-01Q（適格機関投資家転換限付） 940,963,021円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2015-03Q（適格機関投資家転換限付） 596,387,066円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2015-01Q（適格機関投資家転換限付） 583,334,839円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2014-09Q（適格機関投資家転換限付） 561,959,086円
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2015-02Q（適格機関投資家転換限付） 491,449,180円
- ・円サポート
- ・PF先進国ソブリンファンド・為替ヘッジ2013-11M（適格機関投資家転換限付） 461,340,292円
- ・スマート・ラップ・ジャパン（1年決算型） 159,767,203円
- ・スマート・ラップ・ジャパン（毎月分配型） 143,788,228円
- ・高格付債券ファンド（為替ヘッジ70）資産成長型 56,978,959円

(注) 1口当たり純資産額は1,1000円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況（2024年2月14日～2025年2月10日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	901,436,174
支払利息	901,440,399
△	△ 4,225
(B) 有価証券売買損益	△1,140,304,766
売買益	4,291,491,803
売買損	△5,431,796,569
(C) 保管費用等	△ 5,739,074
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 244,607,666
(E) 前期繰越損益金	3,325,447,872
(F) 追加信託差損益金	177,472,567
(G) 解約差損益金	△ 520,195,488
(H) 計(D+E+F+G)	2,738,117,285
次期繰越損益金(H)	2,738,117,285

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年2月14日から2025年2月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。